

The Power of University

大学力

大学が果たす社会的責任とは

日本工業大学

NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY

時代の変化を生き抜くため 「生涯学ぶ力」を育てる

設立50周年の伝統と
新たな時代に向けた
学部・学科改組

今年、日本工業大学は設立50周年と学園創立110周年の節目を迎えるが、成田健一学長の言葉に「美工学を教育研究の目標とし、祝賀気分には浮かれる機子はみじみしない。1967年、高度成長の時代を背景に、実践的な技術者教育を提供する場として開学。当初は工業高校卒業生や学者の大半を占めたが、徐々に普通高校出身者の割合が増え、現在その割合はほぼ4対6となっている。「美工学を教育研究の目標とし、実験実習を通してものづくりの第一線へ活躍する人を育てる教育は、産業界からも長年高く評価されてきた。しかし成田学長は、いまでもその位置づけに安心しているわけにはいかない」と、「社会が急速に変化するなか、求められる知識や技術も変化し続けています。美工学では、ひとりで立て立つ工学(ひとごと)ですが、10年後、20年後に役立つのはどんな力か、誰にも明快な答えなど出ません」



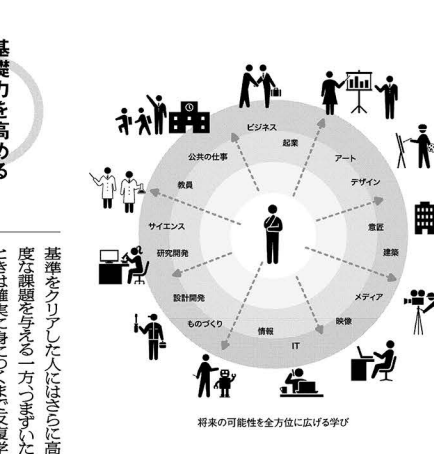
ものづくりに取り組みながら同時に理論を学び、工学への関心を高め実践的な力を養う「美工学教育」

日本工業大学では、時代の急速な変化に対応する危機感と、そのなかで生き抜く力を育てる大学としての使命を果すため、来春から大幅な学部・学科の改組を計画している。

そのための今春から新たに20人以上の教員を増強し、応用化学棟を建設するなど積極的な教育投資を行っている。これは、既存組織の見直しだけではなく、新たな分野の開拓を促すため、応用化学分野や情報技術なども強化を拡充する。

成田学長は「美工学を教育研究の目標とし、実験実習を通してものづくりの第一線へ活躍する人を育てる教育は、産業界からも長年高く評価されてきた。しかし成田学長は、いまでもその位置づけに安心しているわけにはいかない」と、「社会が急速に変化するなか、求められる知識や技術も変化し続けています。美工学では、ひとりで立て立つ工学(ひとごと)ですが、10年後、20年後に役立つのはどんな力か、誰にも明快な答えなど出ません」

しかし成田学長はこうした学部・学科の改編以上に、クオーター制と副専攻制の導入を軸としたシステム改革として、日本工業大学に必要不可欠な挑戦だとしている。磨きかけたのは基礎力です。専門性ももちろん重要ですが、将来強い変化の風が吹いてもしかり立ち回るためには、やはり足元つまり基礎が大切だからです。一人ひとりの成長に合わせて適切な1人1人の教育を受けるのは、教員にとっても負荷の大きな仕事です。しかし、私たちがそれをやり抜くには決めた。学生たちに修繕場をへらしたから、学生たちにも覚悟を決めてきてほしいと思う」



効率的に正解を得ていくと泥臭く努力することを嫌う。競争が苦で野心や向上心が乏しい。この世代、この若者がたまたま、成田学長の目に映る姿は、そうした印象を必ずしも与えない。少しおとなしき姿の成田学長が、このように語り出す。

クオーター制によって教員にも学生にも厳しい教育になることは承知のうえで、あえて導入したシステムを導入するのは学生たちに成功体験を積ませるためでもある。困難な条件下で、努力した結果を出す。そのことで人から評価される。そうした体験が彼らを大きく「化けさせる」のだ。成田学長はいう。専門科目は数を絞る、必修を多くした方がうまくいっています。楽な気持で受けられる授業はほっとしてもらってほしい。学習環境を支えるための施設の整備も進む。50周年記念建設事業の一環として新設される多目的講義棟1号には、用途を限定しない広いオープンスペースを設けた。授業でわからないことがあれば先輩に質問したり、友達同士で教え合ったり、そうした場として活用されることを期待している。同時に、学修支援センターや英語教育センターなどの機能を同じ建物に集約する。授業、厳しく追い込む一方

成田健一学長

TOPICS 1 工房スタイルのものづくり カリッジマイスタープログラム

「フォーミュラ工房」「ヒューマノイドロボット研究」「2x4木造建築工房」など、個人またはチームでリアルなものづくりに挑むプロジェクト。「昨年までの工房教育よりも、最終成果物を完成させたかどうかを単位取得の条件として明確に問うようにした。「参加することに意義がある」では済ませられない」(成田学長)。本格的な施設・設備を用いて教員の指導の下につくり上げる作品はいずれもレベルが高く、国内外のコンテストや展示会で高い評価を受けている。



TOPICS 2 県内4大学の連携を強化 彩の国連携力育成プロジェクト

少子高齢化などの社会的課題に埼玉県内4大学(日本工業大学、埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学)が共同で取り組み、それぞれ専門の知見を生かしながら連携力の強化をめざす取り組みが進んでいる。文部科学省の支援事業を受けた5カ年のプロジェクトは昨年度で終了したが、4大学があらためて話し合い、今後もこの枠組みを維持していくことで意見が一致。今年度は埼玉県も加えた5者で新たなスタートを切った。

TOPICS 3 今年3月に第1期竣工 大学設立50周年記念建設事業

今年6月に設立50周年を迎えるにあたり、日本工業大学ではキャンパス施設の新設・拡充をはかる記念建設事業が進行中。今年3月にはクラブ棟や新食堂、「キッチン&カフェ・トレイル」などが完成、第1期の竣工式が無事行われた。現在は多目的講義棟の建設を中心とする第2期工事が、来年12月の竣工をめざして続いている。なお大学ではこの他に、記念シンポジウムや講演会などのイベントも計画している。



50th Anniversary

日本工業大学は
2017年大学設立50周年を迎えました。

日本工業大学

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
TEL.0480-33-7676 (入試室) <http://www.nit.ac.jp>

スクールバス情報
東武スカイツリーライン「東武動物公園」駅、JR上野東京ライン・湘南新宿ライン「宇都宮駅」「新白岡」駅よりスクールバスを運行しています。
東武動物公園駅西口より5分
新白岡駅東口より12分



Hello! New NIT

2018年4月から日本工業大学は新しく生まれ変わります

3学部6学科2コースへ

※2018年4月設置

基幹工学部 | 先進工学部 | 建築学部

機械工学科 / 電気電子機械工学科 / 応用化学科 | ロボティクス学科 / 情報メディア学科 | 建築学科(建築コース) / 建築環境デザインコース

OPEN CAMPUS 新学部学科説明会

6/4日 7/15日 8/5日 8/19日 9/10日

無料送迎バス 7月・8月のオープンキャンパスでは、水戸、宇都宮、高崎、熊谷、千葉、柏の各駅からも無料送迎バスを運行します。(要予約)

さあ、NITオープンキャンパスへGO!

The Power of University

大学力

大学が果たす社会的責任とは

明治大学

MEIJI UNIVERSITY

考古学をリードし続ける 明治大学、その進化と展開

日本考古学の発展に 貢献してきた明治大学

群馬県の東部みどり市笠懸町阿左美にある岩宿遺跡。この遺跡の発掘により、縄文時代以前日本の



博物館内考古エリア

には人が住んでいたかどうかが、土器の破片や土器の形状から推察され、それが日本の縄文時代が存在したことが証明された。1946年、民間考古学者の相沢忠洋に誘われて、明治大学の石原謙が、約50年経たず調査を実施。明治大学の調査隊は約3万年前と約2万年前の地層からナイフ、形石器や

打製石器等多数の貴重な資料を発掘することに成功した。日本の私立大学では、最も歴史ある明治大学の考古学専攻の発足は50年。現在専任教員5名、学生数約160名、全国一規模の博物館。この年には、神奈川県横須賀市で見つかった日本最古級の約1万年前の貝塚である夏島貝塚の発掘も始まっている。夏島貝塚は縄文時代早期の貝塚で、ひびや石斧などの石器、夏島式土器と呼ばれる土器類、釣針などの骨角器などが出土した。また、人々が食べて捨てたアサリやカキの貝殻、タイやアノロなどの魚類、インシシカなどの動物骨を多く出土し、東アジアでも最古級の貝塚だ。

岩宿遺跡、夏島貝塚はともにそれまでの日本の歴史に対する常識や認識を大きく変え、戦後の考古学研究の進展に貢献した。遺跡は国史跡として、出土品は重要文化財に指定され、明治大学博物館に展示・収蔵されている。博物館は明治大学駿河台キャンパスナカミニ1号館にあり、無料で自由に見学することができる。

「これまでの日本考古学は時代や地域ごとに出土品の観察や分類を中心とした研究が進められてきた。その精緻な分析世界でも最高水準で、しかし近年の考古学ではそれだけでなく、ヒトと環境の相互関係から人類の歴史を考えた視点で、出土品の材質などを理化学的に分析し、製作技術を解明したり、材料の産地を推定して流通経路を解明したりするなど、関連科学の方法の導入が不可欠になってきた。また、こうした研究からは一つの時代だけを対象とするのではなく、時代を透過して考察する新たな視点も生まれてきています。その一つが、阿部教授の考古学専攻だ。阿部教授は、明治大学付属の研究施設である黒曜石研究センターのセンター長も務める。黒曜石研究センターは、日本で唯一の黒曜石と人類に関する研究施設で、2000年に長野県小県郡長和町に設置された。10年に研究・知財戦略機構付属研究施設となつたセンターは、新たに「ヒト資源環境系」という概念をもつ考古学・地質学・古環境学・文化財科学に関する学際的なプロジェクトを立ち上げた。16年からはさらに人類学や古病理学、動物植物考古学・応用有機化学を加えさらに体制を強化した。黒曜石は火山の噴火によってできた岩石であり、

成比が異なるため、蛍光線分析による産地を推定することができ、黒曜石がどのようにして流通したのかを知ることで、現在は海外の研究機関との共同研究も進んでいます。さらに理工学部と共同で縄文時代の漆文化の研究をテーマとした研究や、外研究機関と共同して人の古食性分析なども進めている。分野を超えた調査・研究ができるのは学際研究の強みです。発掘された石器や土器、貝塚に捨てられた貝殻や骨は、それ自体が研究の対象物としての貴重な資源となる。同大に脈々と受け継がれてきた考古学の資料や資源は、ますます新たな可能性が秘められているのだ。

取蔵されている貴重な資料はすべて膨大なものや情報もあふれている。現代社会の様々な問題が先人が築いてきた歴史や時代に立ち返ることで、解決の糸口を探ることができる。トビトビ得るかもしれない。社会に知を還元していく場としての明治大学博物館のさらなる活用を待っている。

物館二考古学博物館の3館が統合して発足した。収集されている資料は30万点を超え、その中から重要文化財を含む約2千点が常時展示されている。また、特別展示室では、明治大学の多様な研究資源を公開したり、最新の研究成果を発表したりすることで、大学の知を社会に還元している。「大学の研究やその成果を速報的に社会に発信できる場や機会があることは、とても有意義だと思えます。インフォrmや講演会も活用しながら成果を広く見せよう」と、参加者の感想や指摘が次の研究の道筋をたどり、ついに阿部教授は言う。

阿部勇郎教授

TOPICS 1 「大学の世界展開力強化事業」に採択 文部科学省平成28年度

文部科学省では、大学の国際連携の取り組みを支援する「大学の世界展開力強化事業」を実施しており、明治大学の構想「CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システム」が2016年9月に採択された。この事業では、CLMV諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)やASEANの15大学と連携し、政治経済学部、理工学部建築学科、理工学研究科建築・都市学専攻建築学系及び国際建築都市デザイン系、情報コミュニケーション学部が、専攻分野やキャンパスを超えた取り組みを展開していく。この構想では、日本の高度経済成長の経験を教訓とした「先進的なアジア型の将来都市構想」とそれを実現するための「共創的教育システム」を創造することを目的としている。



TOPICS 2 科学研究費助成事業採択結果 「数学基礎・応用数学」分野全国1位

明治大学では、多くの研究が科学研究費の助成事業に採択されており、独創的・先駆的な研究が進められている。文部科学省が2016年10月に発表した「平成28年度科学研究費助成事業の配分について」では、研究分野の「細目別採択件数上位10機関(過去5年の新規採択の累計数)」のランキングにおいて13分野でランクイン。「数学基礎・応用数学」では、全国の大学・研究機関のなかで1位となった。

■「数学基礎・応用数学」細目別採択件数上位5機関

順位	機関名	新規採択件数	累計採択件数	応用件数
1	私 明治大学	20.5	28,700	46.0
2	国 京都大学	20.0	46,800	40.5
3	国 九州大学	18.0	24,500	53.0
4	国 神戸大学	17.5	17,850	45.0
5	国 東京大学	16.0	27,400	26.5

(累計採択の単位は「千円」)

TOPICS 3 受験生注目!! 「MEIJI NOW」で受験体験記も公開中

「MEIJI NOW」は、明大生の様々な活動を届ける情報サイトとなっており、留学体験や就職活動、サークルやゼミでの学び等を、現役学生が紹介し、リアルな明大生の学生生活を発信している。大学スポーツの紹介にも力を入れており、体育会の試合の日程や結果も、躍動感のある写真と合わせて紹介している。なかでも、受験生におすすめなのが「受験体験記」。現役明大生が自身の受験を振り返り、志望理由やおすすめの勉強方法等を紹介する人気コーナーで、大学選考や受験勉強の参考に活用できる内容となっている。



多面的な研究の展開と 時代を貫く視点

「これまでの日本考古学は時代や地域ごとに出土品の観察や分類を中心とした研究が進められてきた。その精緻な分析世界でも最高水準で、しかし近年の考古学ではそれだけでなく、ヒトと環境の相互関係から人類の歴史を考えた視点で、出土品の材質などを理化学的に分析し、製作技術を解明したり、材料の産地を推定して流通経路を解明したりするなど、関連科学の方法の導入が不可欠になってきた。また、こうした研究からは一つの時代だけを対象とするのではなく、時代を透過して考察する新たな視点も生まれてきています。その一つが、阿部教授の考古学専攻だ。阿部教授は、明治大学付属の研究施設である黒曜石研究センターのセンター長も務める。黒曜石研究センターは、日本で唯一の黒曜石と人類に関する研究施設で、2000年に長野県小県郡長和町に設置された。10年に研究・知財戦略機構付属研究施設となつたセンターは、新たに「ヒト資源環境系」という概念をもつ考古学・地質学・古環境学・文化財科学に関する学際的なプロジェクトを立ち上げた。16年からはさらに人類学や古病理学、動物植物考古学・応用有機化学を加えさらに体制を強化した。黒曜石は火山の噴火によってできた岩石であり、



発掘調査をおこなう明大生(千葉県四街道市八木原貝塚)

教育研究と社会をつなぐ 博物館資料を一般公開

04年に開館した明治大学博物館は、アクセス便利な駿河台キャンパスに、前身の刑事博物館「商品博

生徒に 人気がある大学

明治大学は志願者数が11年連続10万人を超えるなど、全国の受験生と高等専修学校から高い評価を得ています。その要因として挙げられるのが、大学改革への積極的な取り組みです。1881年の設立以来、建学の精神「権利自由」「独立自治」を受け継ぎつつ、グローバル時代を牽引する強い「個」を育てる大学として発展を続けています。「個」のつながりは卒業後も続き、校友(卒業生)約54万人との関わりはその後の人生でも大きな財産となります。

その他の主なランキング
(全国私立大学編)

就職に力を 入れている大学

学生一人ひとりの就職活動やキャリア形成を徹底的にサポートしています。学生たちにもめまやかな指導や情報提供を積み重ね多くのメディアから「就職の明治」と評価されています。2年次から、明大オリジナルの「キャリア手帳」を配布し、就職・進路ガイダンス、エントリーシートや筆記試験対策など手作りの各種行事を多数開催。年間約30,000件もの学生相談に対し、「フェイス・トゥ・フェイス」で応じています。

全国の進路指導教諭が選んだランキング
●面倒見が良い大学 第3位
●改革力が高い大学 第4位

自分の子どもに 入学してほしい大学

明治大学には学生生活全般をサポートするさまざまなシステムがあります。その一つが多様な奨学金制度です。返還不要の給費型や成績優良者、地方出身者対象のもの等があり、およそ3人に1人の学生が何らかの奨学金制度を利用しながら学業に励んでいます。また、卒業生が政財界から文化、スポーツ、芸能まで多彩な分野で活躍していることも、自由で平等な校風の明治大学ならではの強みです。

全国の社会人が選んだランキング
●企業の人事採用担当者だとしてら気になる大学 第3位
●卒業生が魅力的な大学 第3位

オープンキャンパス日程

- 駿河台キャンパス 文系全学部(農学部・農学部・農学部も参加)
8月2日(水)・3日(木)・4日(金)
※安全面への配慮および満足度向上のため、駿河台キャンパスでは事前参加登録を行います。詳細はHPでご確認ください。
- 生田キャンパス 理工・農学部(総合数理学部も参加)
8月8日(火)・9日(水)
- 中野キャンパス 国際日本・総合数理学部(理工学部も参加)
8月22日(火)・23日(水)



●法学部 ●商学部 ●政治経済学部 ●文学部 ●理工学部 ●農学部 ●経営学部
●情報コミュニケーション学部 ●国際日本学部 ●総合数理学部

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
入学センター 事務局 TEL.03-3296-4138 http://www.meiji.ac.jp/



The Power of University

大学力

大学が果たす社会的責任とは

明星大学

MEISEI UNIVERSITY

他者を通して自分を知り、自己実現につながる教育

能力や可能性を最大限発揮

6年後の2023年に創立100周年を迎える明星大学の高等教育機関として1964年に緑豊

かな多摩地区に設立された明星大学。設立当初は入学生員が1学部5学科200人程の小規模な大学だったが、「教育学の明星大学」という名のもとに、絶えずたくましく着実に教育改革を行いつつ発展し、53年経った現在では、8学部11学科、大学院5研究科12専攻、通信教育課程を併せ持つ総合大学として



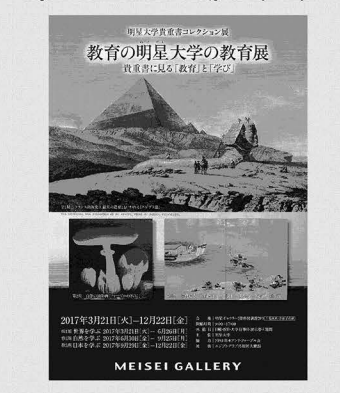
学部を超えた学生同士がグループで課題に取り組む

明星教育センターに所属し、自立を体験の講義を担当している

「積極的に人と関わり多様性を認め合う」

TOPICS 1 「教育の明星大学の教育展」 第4回明星大学貴重書コレクション展開催

明星大学はシェイクスピアの戯曲集初版本「ファーストフォリオ」をはじめ、世界的な貴重書を4,500点以上所蔵している。今回は「教育学」関係及び、学びの精神を著す貴重書を「世界を学ぶ(3月21日～6月26日)」「自然を学ぶ(6月30日～9月25日)」「日本を学ぶ(9月29日～12月22日)」の3期に分けて特別公開中だ。会場は明星大学資料図書館の2階。入場は無料で事前予約制。予約は下記のURLから手続きできる。



TOPICS 2 高い教員採用の実績 小学校教員就職者数全国私大3位

2016年の就職状況において、明星大学は小学校教員就職者数が全国の私立大学で3位となった(国公立を含めると7位)*。このような実績の背景には、教育学部で行われている教育問題への洞察力を養う「体験ワークショップ」、保育園・幼稚園・小学校・中学校の現場で実践力を磨く「教育インターンシップ」などの体験型学習プログラムが存在が大きい。さらに、教員免許状や保育士資格取得を目指す学生を入学から就職まで一貫して総合的にサポートする明星大学ならではの支援体制「教職センター」も一役買っている。

TOPICS 3 明星大学勤労奨学金制度 経済支援とインターンシップを両立

本制度は、学内でのインターンシップを伴う、返還義務のない奨学金制度。教育理念の「体験教育」、「実践躬行」を具現化し、人材育成に重きを置いている点が特徴だ。毎年定員に対して2～5倍の応募があり、グループワークや面接で採用が決まる。2017年度は全学年で149名の勤労奨学金が在籍している。学内の事務局各課に所属し、授業の空き時間を中心に年間240時間の実務を体験する。大学で働くことで、「大学の一員」としての意識が高まり、社会のマナーや一般常識を早期に身につけることで、明星のリーダー学生育成にもつながっている。

「自立を体験1」は、前期15回からなる授業で、

「生きる力につながる体験教育」

「必修科目の自立体験1」は、

「自立を体験2」は、



先端の設備を取り入れた学習環境。仲間と集える談話スペースや憩いの場も充実。



「自立と体験1」の講義の様子

「自立を体験2」は、

「自立を体験3」は、

オープンキャンパス開催

7.16(日) | 7.30(日) | 8.6(日) | 8.27(日) | 11.3(祝・金)

申込不要・入退場自由(開場時間10時00分～14時30分)
〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1
(多摩都市モラル「中央大学・明星大学」駅直結)
TEL 042-591-5793 (アドミッションセンター)



教育学部	教育学科 (小学教員コース、教科専門コース、特別支援教員コース、子ども福祉コース)
心理学部	心理学科
人文学部	国際コミュニケーション学科、日本文化学科、人間社会学科、福祉実践学科
経済学部	経済学科
経営学部	経営学科
デザイン学部	デザイン学科
理工学部	総合理工学科 (物理系、生命科学・化学系、機械工学系、電気電子工学系、建築学系、環境科学系)
情報学部	情報学科

めいせい 教育の明星大学



